

# SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行  
No.

87

発行日：令和5年11月15日(水)  
(2023年)

地域企業紹介 87

## 株式会社日本物産

### 「よい住まいから、よい家族、よいまちづくりへ」

不動産売買仲介・注文住宅販売などを手掛ける株式会社日本物産の代表取締役である井上康誠社長を相模原市中央区中央の本社に訪ねました。

アメリカ西北部(西海岸)に位置するオレゴン州は、米国の中で最も美しいと言われる州のひとつ。北米の針葉樹林で強度に優れた「ダグラス・ファー」の産地で、住宅や家具といった木材産業が盛んである。州内にあるポートランドは太平洋とカスケード山脈に囲まれ、アメリカ北西部では2番目に人口が多いながらも新鮮な海の幸、山の幸に恵まれた土地。米国で「最も住みたい街ランキング1位」に選ばれたこともあるところだ。そこには「古き良きアメリカの住宅」の形をそのままに、洗練された“デザイン性”と生活に必要な“機能性”を兼ね備えた住宅が立ち並び、そこに暮らす人々の生活を暖かく見守っている。そんなオレゴン州の住宅を日本の風土に適するようにアレンジして創り上げた注文住宅「オレゴンハウス」を提供しているのが株式会社日本物産だ。

同社は、昭和52年3月に井上康誠社長の父である井上明氏(現取締役会長)が津久井郡城山町川尻(現相模原市緑区)にて、不動産仲介及びインテリア工事業を創業したのが始まり。長年に亘り、「地域密着・自社一貫体制・次世代住宅への挑戦」を三本の柱として、「一流の技術」と「おもてなしの心」をもって、お客さまに感動と付加価値の高いサービスを提供している地元不動産建築業者だ。現在では、新築住宅・注文住宅・不動産仲介・土地売買・リフォームを主要事業として、相模原地域(3店舗)を中心に東京都町田市、千葉県八千代市にハウジングセンターを構えるなど着実に営業基盤を拡大してきた。

現在、同社の主力商品である「オレゴンハウス」は、アメリカンハウスのアイデンティティを反映させる“カバードポーチ※”が大きな魅力だ。屋根に覆われた玄関やウッドデッキを設けることで、陽の眩しさや雨を気にせず外の空気を吸いながらゆったりと過ごしたり、BBQやTea Timeなどを“半屋外”という空間で“とびきりスペシャルな時間”を過ごすことができる。室内においては、家族が集まるリビングに階段を設けることで、家族が自然に顔を合わせる時間が増えるようにつくられている。各部屋に至る廊下も最小限にできる分、リビングや他のスペースを広くすることもできる。そんな「オレゴンハウス」のコンセプトは、ママたちの声をもとにつくられた「MAMAKAJI(ママカジ)設計」だ。いつも家族の中心にいるママ。ママが家事をしやすいと家の中が心地よい。家の中が心地よいと、家族みんなが暮らしやすい。そんなみんなが嬉しい家になるように4つのアイデアが「オレゴンハウス」には盛り込まれている。1「忙しいママの

代表取締役：井上 康誠 (いのうえ やすなり)

所在地：神奈川県相模原市中央区中央 4-12-7

従業員数：35名

資本金：5,000万円

事業内容：新築住宅、注文住宅、不動産仲介、土地売買、  
売却査定、リフォームURL：<https://www.nihonbussan.co.jp/>



ための”水回り動線“2「料理をしながら家族と過ごす”対面キッチン“3「大容量の多彩な収納」4「あたたかく見守る育児」はスタディカウンをリビングに設置することで、楽しく学べる環境を提供してくれる。気になるコスト面では、中間業者を挟まない日本物産の直接契約・直接施工システムで、充実した機能・設備をそのままに、納得のお手頃価格を実現。さらに「オレゴンの家L40」では、「選べる間取り」72プランを取り揃えているほか、オレゴンシリーズとして価格や仕様によってバリエーションに富んだ様々なタイプが用意されている。これまで日本物産で住まいを求めたお客様からは、「大満足！後悔のない自分たちだけのお家ができました！」という感動の声が多く寄せられている。そんな声に”これからも、お客様に元氣と喜びを感じて頂けるような“住まいづくり”を心がけていきたい”とのこと。

そんな井上社長は、津久井郡城山町(現相模原市緑区)の出身。川尻小学校、相模丘中学校から大沢高校を経て東京工学院専門学校建築工学科へ進学した。建築学を学んで(株)日本建設(株)日本物産の関連会社、現 日本ハウジング(株)に入社、その後、東京都の設計事務所に勤め先を変え、キャリアを積みながら二級建築士の資格を取得。日本建設に戻り、宅建士に合格・登録して日本物産が手掛ける建売住宅や注文住宅の設計・管理に約5年間従事し、日本建設の社長に就任した。リフォーム専門店「リファイン橋本」を開業し、新たにリフォーム事業を手がけるなど、経営者として様々な経験を積んだ後、日本物産の専務取締役を経て、平成28年に同社社長に就任。趣味は経営者仲間や友

人と一緒にプレーするゴルフで、なぜだか、練習しなかったときや体調が悪いときに良いスコアが出ることが多いのだとか。

近年、住宅産業界は劇的に変化を続けている中、日本物産は居住性はもちろん、品質・コスト・健康・地球環境・メンテナンス・生産性・美観などに優れた新たな価値創造に挑戦し続けている。3年後の創業50周年に向けて本社社屋の建て替えを計画すると共に、住宅産業界の第一人者としての専門性に磨きをかけ、これからも住まいの「新次元へのフィールド」へ邁進していきたいと井上社長。いつも変わらない“おもてなしの心”を大切に、よい住まいから、よい家族、良いまちづくりに貢献する日本物産。これから家を買いたい、建てたいと考えている方は、ぜひ日本物産に相談してみたいはかがでしょうか。きっと“いい住まい”に出会えることでしょう！



※カバードポーチのある住宅イメージ

## 技術と人をつなぎ、 世界に貢献する企業として！

入居企業紹介

88

OTES9 株式会社  
(オテスナイン)

「マイクロソルダリング」と呼ばれる微細なレーザーはんだ付けプロセスのコンサルティング事業を行う OTESS9 株式会社は、令和2年(2020年)に個人事業 OTESS9 として創業、令和4年(2022年)に法人化し OTESS9 株式会社となりました。その代表である瀬戸満成社長にお話を伺いました。

大学卒業後、ワーキングホリデーを経験。帰国後には研究開発型企業で営業を担当し、大手企業向けに微細レーザーはんだ付け装置の販売から技術的なアフターフォローを行ってきました。30代半ばではベトナムで起業も経験し、その後、海外営業拠点があるはんだ付け関連装置メーカーで技術営業として、国内はもちろんアメリカ、メキシコ、ブラジルといったエリアも担当し、得意のビジネス英語で多くの商談を成功させました。

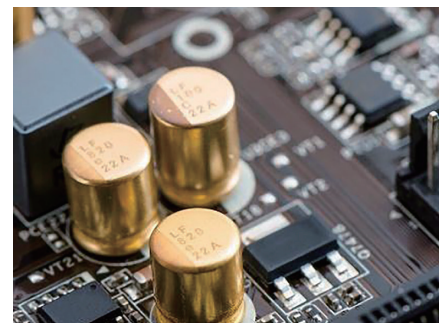
OTES9 社の業務内容は①微細レーザーはんだ付け装置のコンサルティング業務と、②微細加工用レーザー装置の販売、開発、製造です。産業用・民生用を問わず、あらゆる電子機器は人間の活動にはなくてはならないものの1つとなっ

ていて、その中には電子デバイスと電子基板が使用されています。これらを「電気的に接合」するために使われているのが「はんだ」で、電子機器の高性能化・小型化が急激に進む中、微細なはんだ付け加工には高度な技術が要求されます。従来のはんだ付け加工は、はんだごてを使っての接合が主流ですが、近年は、はんだごてでは不可能な領域となる 100μm 以下のはんだ付けが主流になりつつある中で、レーザー加工技術が注目されています。

微細レーザーはんだ付けは、専門的な知見が必要となり、特に量産を見据えた導入となれば、生産技術としての検討から原理確認テストまで、計画的なプロセスを踏んでいきます。次々と新しい電子デバイスが開発され、多様な加工技術も確立されている中で、レーザーによる接合加工が品質、生産性の観点から適しているかどうか、その評価自体が十分になされなければなりません。電子デバイスや実装される基板の形状や素材、また基板上の回路やデバイスの配置によっても選択すべき加工方法は異なってきます。多岐にわたるコンサルティング、設備の提案や導入実績

を有する瀬戸さんだからこそ、客先の要望や将来の技術動向を見据えたきめ細やかな対応によって、信頼関係の構築に裏付けられた受注につながっています。

技術革新がさらに進んでいくエレクトロニクス分野において、OTES9社は最新技術を取り込みながら顧客ニーズを捉え、世界をフィールドに、最適かつ丁寧なコンサルティングを提供することで、企業の技術と人をつなぐことに貢献していきます。



OTES9株式会社  
Desk10 会員  
<https://www.otes9.com/>



職場の日常にあたり前のように溶け込んでいる「会議」は、実は組織活動において不可欠で普遍的、かつ最も影響力の大きい事象と言えます。近年、洋の東西を問わず会議は増加傾向にあり、例えば米国の職場では、過去半世紀の間に会議数が5倍に膨れ上がり、今日に至っては5500万／日に上っています。つまり、膨大な組織の資源（従業員の時間や給与など）が会議に注ぎ込まれていることになり、そのうえ会議は今後も増えると予想されています。ところが、多くの労働者は会議を最も無駄な時間で仕事を妨げるストレスの源と捉えています。では、会議は必要悪なのでしょうか？本稿では、職場会議の現状課題と効果的な会議の運営について、最新の研究を交えて紹介いたします。

従業員数300人未満の企業に属する従業員を対象とした筆者の調査では、職場会議の問題点として、「会議時間が長い」「上司からの一方通行が多い」「ダラダラとマンネリ化している」「話が脱線する」「考えがまとまらず長引くことが多い」「発言者が決まっている」「自由に発言できない雰囲気がある」などが多く挙げられています。そうした非効果的な会議は、従業員の職務満足感やモチベーションを低下させ、心身の疲労度や離職意図を高めることが多数の研究によって明らかになっています。また、予定が会議で埋め尽くされると、ディーブ・ワーク（邪魔されることなく認知的

要求の高いタスクに完全に集中できる能力）が阻害され、従業員はその埋め合わせに早朝出勤や残業、休日勤務などを余儀無くされることもあります。

一方で、効果的な会議は、従業員間の心理的安全性を高め、情報を共有する、アイデアを創出する、意思決定に参加する、問題を共有し解決策を策定する、葛藤を解決する、共同体意識を醸成する場として機能します。心理的安全性とは、「所属するチーム／職場は、対人的リスク（恥をかく、拒絶・批判される）を伴う行動（問題点の指摘、支援の要請など）を、そのリスクを懸念せずに行える安全な場であるとメンバーに共有された状態」を指します。筆者の最近の研究でも、効果的な会議の運営によって会議に対する満足度と心理的安全性が高まり、その結果、仕事に関するポジティブな状態を表すワーク・エンゲイジメントとパフォーマンスが高まる可能性が示されています。

では、効果的な会議運営の実現には、どのような要素が重要となるのでしょうか。これまでの研究では、時間厳守、会議時のリーダーの行動、目標の明確さ、焦点を絞ったコミュニケーション、ユーモア、公式な議題、会議のルール／手順などが影響要因として報告されています。特に、リーダーや会議進行役は、心理的安全性を築くうえで強い影響力を発揮

します。リーダーが会議出席者全員に声を挙げて意見やアイデアを表明するよう奨励すること、会議の開始・終了時間を厳守すること、従業員の都合を配慮して会議を設定することは、心理的安全性の向上に寄与します。そこで筆者は、リーダーの会議管理能力を強化するための体系的な教育研修の必要性に注目し、コーチングの手法を用いた研修プログラムの開発に着手しています。たかが会議、されど会議、まずは、現在の職場会議の実態を把握することが改善への第一歩となるでしょう。



松田チャップマン与理子

桜美林大学 健康福祉学群／国際学術研究科心理学実践研究学位プログラム 教授

大中小の国内・国外企業でマーケティングを専門に長年勤務した経験も活かし、ポジティブ組織心理学の分野で「働く人のウェルビーイングと組織の繁栄」に関する研究と実践を行っている。現在は、特に部下の育成を促す上司のコーチングスタイルに力を入れている。

## らぁ麺つね

SIC から徒歩約3分。遊技場敷地内に店を構えるラーメンのお店。近野店長が前オーナーから店を譲り受け、2013年にオープンしました。近野店長は飲食経験ほぼゼロの状態からのスタート。日々試行錯誤を繰り返しながら、現在の味に到達したそうです。

今回いただいたラーメンは醤油ベース・ラード・きざみ玉ねぎが入る八王子ラーメン。特につねの玉ねぎは一つ一つ丁寧に手で切っており、独自の下処理を行う工夫で辛味を抑えています。店長こだわりの麺、繊細な火加減から完成するスープ、国産にこだわったトッピング、これらが一体となり深みのある味を引き出します。

さらなる高みを目指す、不屈の努力から生まれたラーメン。近野店長の“研究成果”を皆様味わってみてはいかがでしょうか？ごちそうさまでした。（大谷）



醤油ラーメン



店長の近野さん



太麺が特徴的なつけ麺

【所在地】 神奈川県相模原市緑区西橋本3-1-8  
【営業時間】 11:30～15:00(月・水～金)  
11:30～18:00(土・日)  
【定休日】 火曜日



## SIC ミニセミナー The HINT63

## 新規事業をスマート・スタート

～新規事業ワクワクゲームで新規事業推進の突破口を体感しませんか？～

新規事業ではアイデアそのものだけでなく、チームのモチベーションが成功のカギとなります。

今回のThe HINT63はゲームを通してワクワクしながら体感し、新規事業の成功イメージを掴みます。チームで新規事業へのチャレンジを検討されてらっしゃる企業はぜひご参加ください。

第1部  
15:00～15:30

新規事業をチームでワクワクしながら推進するために  
講師：株式会社日本能率協会コンサルティング  
R&Dコンサルティング事業本部 石塚周太氏

第2部  
15:30～17:00

## 新規事業ワクワクゲームの体験

ファシリテーター：

青山学院大学 理工学部

経営システム工学科松本俊之研究室

小嶋山麻美氏

株式会社日本能率協会コンサルティング

R&amp;Dコンサルティング事業本部 盛田悠平氏



- 【日 時】 令和5年12月7日(木) 15:00～17:00  
 【場 所】 SIC-2 会議室A  
 (相模原市緑区西橋本5-4-30)  
 【対 象】 特にチームで新規事業へのチャレンジを検討している企業  
 【定 員】 12名(申込順)  
 【参 加 費】 無料  
 【お問い合わせ】 ㈱さがみはら産業創造センター  
 事業創造部 片山



WEBサイトより  
お申し込みください。

詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sic-sagamihara.jp>

## 令和5年11月時点 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

|                            |                                            |
|----------------------------|--------------------------------------------|
| 令和5年11月2日(木)               | The HINT62<br>「漠然と理解していませんか？"営業秘密"」 終了しました |
| 令和5年10月2日(月)～<br>12月28日(木) | SIC-3 大規模修繕                                |
| 令和5年11月29日(水)～<br>12月2日(土) | 2023国際ロボット展<br>(さがみはらロボット導入支援センター出展)       |
| 令和5年12月7日(木)               | The HINT63<br>「新規事業をスマート・スタート！」            |
| 令和5年12月18日(月)              | タイアップセミナー                                  |
| 令和5年12月21日(木)              | SIC大掃除                                     |
| 令和6年2月20日(火)               | 経営力アップセミナー                                 |



## 入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (令和5年11月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

| 部 屋                   | 空 室 数              | 賃料/月額<br>(共益費込・消費税込) |
|-----------------------|--------------------|----------------------|
| SIC-1<br>Startup Lab. | ○セミラボB (31.5㎡)     | 1 108,240円           |
|                       | ○スモールオフィスB (17.3㎡) | 2 70,620円            |

最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

ベンチャー企業・ベンチャー  
キャピタル/サポーター交流  
会実施されました。

10月31日神奈川県によるベンチャー支援ネットワークのイベントが、SICで開催されました。第一部はベンチャー起業家がこれまで乗り越えた多くの壁をリアルに語り、支援担当者など熱いセッションを行いました。第二部では相模原市内のスタートアップ6社が、ベンチャーキャピタリストの前でショートピッチを行いました。県の事業担当者からは「相模原のベンチャーの“層の厚さ”を感じました。」とのコメントも寄せられました。

## 相模原市外企業対象

令和5年度 相模原市ベンチャー・  
スタートアップ企業進出補助金のご案内

相模原市では市外から相模原市に事業所を新たに設置するベンチャー・スタートアップ企業に対し、事業所の設置に係る賃料や事業の実施に係る外注加工費等の補助を行います。

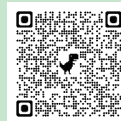
補助対象経費は①賃料②事業所整備費③外注加工費④販売促進費・広告宣伝費になり、①～④は併用可能です。補助上限額は120万円になります。

対象となる設立年数や産業については、下記のURLでご確認ください。

## お問い合わせ先：

相模原市役所 環境経済局 創業支援・企業誘致推進課  
詳細：

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/sangyo/sangyo/1026664/1003291/josei/1029250.html>



## 編集後記

当たり前に使っている温水洗浄便座やWiFi、部屋ごとに設置されたエアコンや、調理器具の一つにもなっている電子レンジ。今やなくては困るものが多いのですが、家族がずっと同じ時間を過ごすために大切な「もの」や「こと」は、時代は違えど変わらないのかもしれない。快適さや便利さに「心の豊かさ」を埋められさせないようにしたいものです。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)  
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077  
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を  
お待ちしております。

ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>